

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
中広2丁目マンション

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
		評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質									3.0
Q1 室内環境			0.40						3.2
1 音環境		2.6	0.15	2.8	1.00				2.8
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40				
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00				
2 設備騒音対策			-		-				
1.2 遮音		3.0	0.40	3.7	0.40				
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能		-	-	4.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	4.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	4.0	0.20				
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20				
2 温熱環境		2.6	0.35	3.0	1.00				2.9
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	1.00				
1 室温設定		3.0	0.63	-	-				
2 負荷変動・過低制御性		-	-	-	-				
3 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00				
4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-				
5 温度・湿度制御		-	-	-	-				
6 個別制御		-	-	-	-				
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-				
8 監視システム		-	-	-	-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-				
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-				
3 光・視環境		2.7	0.25	3.5	1.00				3.4
3.1 昼光利用		3.0	0.30	4.0	0.50				
1 昼光率		-	-	5.0	0.50				
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30				
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	0.20				
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.50				
1 照明器具のグレア		-	-	-	-				
2 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00				
3.3 照度		3.0	0.15	-	-				
1 照度		3.0	1.00	-	-				
2 照度均斉度		-	-	-	-				
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-				
4 空気質環境		4.0	0.25	3.7	1.00				3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63				
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面的に使用している	4.0	1.00	4.0	1.00				
2 アスベスト対策		-	-	-	-				
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-				
4 レジオネラ対策		-	-	-	-				
4.2 換気		4.0	0.40	3.3	0.38				
1 換気量	法の1.4倍以上	5.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能		3.0	-	4.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33				
4 給気計画		-	-	-	-				
4.3 運用管理		-	-	-	-				
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-				
2 喫煙の制御		-	-	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-				3.3
1 機能性		2.2	0.40	3.8	1.00				3.6
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.60	4.0	0.60				
1 広さ・収納性		-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応		-	-	4.0	1.00				
3 バリアフリー計画		1.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40	3.5	0.40				
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-				
3 内装計画	明確なコンセプトに基づき内装材を使用	4.0	1.00	4.0	0.50				
1.3 維持管理		-	-	-	-				
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-				
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-				3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-				
1 耐震性		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-				
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級2	4.0	0.23	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ホール壁に大理石使用	4.0	0.09	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23	-	-				

2.3 適切な更新			-	-	-	-	
2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	複数の情報端子・配線ルートの確保	5.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.8	0.29	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1	階高のゆとり		-	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3	設備システムの高効率化	ガス給湯器採用	4.0	0.40	-	-	4.0
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水型水栓・便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	杭に高炉セメントを採用	4.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	陶磁器タイル、集成材	4.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤の使用なし	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が少ない	4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車場・駐輪場の確保	4.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明等の使用なし	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	